

SEPTEMBER

No.86

2018

やまたらけ

YAMADARAKE

本物の自然を伝える。





⑤シカの糞を発見。「いつのものかな。」



③昨日の調査で見つけたシカの痕跡をみんなで確認。



①目的地に行くまでの生物も図鑑を見せて丁寧に説明していました。



④昨日設置したカメラにシカが映っているかみんなでチェック。



②目的地の雑木林に到着。



淡々と涼しげな表情で業務にあ
たっているかと思えば、ふと見せる
屈託のない笑顔で親しみやすさが
感じられる、戸田美樹さん。6年
前に東京の多摩から早川町に移
住し、南アルプス生態邑でネイ
チャーガイドとして働いています。
日常的に早川町の自然に携わ
る戸田さんの仕事や暮らしを通じ
て、早川町の自然の魅力や環境と
共に、人との関わりについてこれ
機に考え直したいです。

今回は南アルプス生態邑で毎
年開催され、戸田さんが担当して
今年で3年目になる幼児教育の
団体、小学校高学年向けサマー
キャンプの2日目に密着させても
うりました(4ページ上段、表の赤
字部分)。ネイチャーガイド2名

に、参加者は5名です。

前日のライトセンサス(※注1)で、シ
カがいたと思われる雑木林にセン
サーカメラを設置しておきまし
た。その日の目的地はその雑木林
です。そこにシカが映っているか、
何をしていたかを調査します。

雑木林までの道中、炎天下にも
関わらず、目に入った昆虫全てと
でもいうくらいに関心を向け、戸
田さんに質問を浴びせる子ども
達。子どもの旺盛な好奇心を決し
てつぶさず尊重し、丁寧に優しく
教えていく戸田さん。決して強引
に急がせたりするようなことはせ
ず、子ども達と共にゆっくり歩を
進めます。

やつのことで雑木林に到着し
ました。「シカは木の下で寝るのが
安心するんだね。片目をつむって
こんなふうな姿勢で寝るんだね。」
と写真を見せながらシカの生態を
確認します。そのすぐ右側で草が
倒れている箇所を発見しました。
そちらへ歩いてみます。「カメラに
映っているかもしれないね。見てみ



④先を見つめる暖かい眼差しの戸田さん。



③子ども達の高揚感が伝わってきました。



①水着に着替えて午後の準備OK!



②道具はスタッフ2人で抱えて持って行きました。



※注1 ライトセンサス=夜間に林道や農道を車で低速走行しながら、前方と左右をライトで照射し、哺乳動物の姿や目の反射をもとに種類・頭数を調査する方法。

キャンプ ト&インタビュー

●文=アンティラ美織、望月千加



⑩シカに成りきって、カメラの角度や向きを調整しました。



⑨「もう一台の昨日置いたカメラは映っているかな。」



⑦カメラを子ども達で再設置しました。



⑧シカが通った跡。コケが剥がれていました。



⑥「シカの足跡を絵で描くと、この向きだね。」

シカが自分達の生活圏内で生き、自分達で決めた場所から観察できます。主体性や思考力が身に付きそうな魅力的なプログラムです。
お昼をはさみ、午後のプログラムが始まります。近くの河原に移動し、水生生物を採集して、その場で顕微鏡での観察が始まりま

よう。」と戸田さんは話します。しかし、残念ながら、シカは映っていませんでした。けれども、新しいけもの道を発見しました。それをたよりに、シカが映りそうな木を選び、今度こそ映るようシカになりきって考え、角度も調整しカメラを再設置しました。その後1週間置いておき、データを子ども達に送ります。



まだ20代ではありますが、落ち着きや安心感があり、意志の強さも醸し出す不思議な魅力を持つ戸田さんは、どんな幼少時代を送り、どう自然を捉え早川で暮らしてい

捕まえた水生生物を、顕微鏡を使い観察します。戸田さんは「見てごらん。可愛い目をしているでしょう。」と全員が見るよう促します。早川のような、水質がとても綺麗な川は酸素が少ないです。よって、そこに棲む水生生物はできるだけ多く酸素を取り込むために、エラが発達しています。そういった生物の進化や自然の仕組みを観察しながら戸田さんは教えていきます。

す。待つてましたとばかりに、魚がいそうなところへ散り、水生生物捕獲に全力で取り組む子ども達。捕まえるたびに戸田さんに「こんなのを捕まえたよ。」と誇らしげに見せに行く子ども達が微笑ましいです。戸田さんも「わあー、これは〇〇だね。」と子どものような無邪気な笑顔を見せ共に喜びや楽しさを分かち合います。



⑦河原の方にも面白い生物がいるか探す子ども。⑧戸田さんに促されて、顕微鏡をじーっと覗き込みました。



⑤捕った生物をトレイに載せてみんなで囲みました。⑥戸田さんも子どもと一緒に興味を示します。

るのでしよう。後日、改めて取材をさせていただきます。

スタッフ〔「スタ」。以下同様〕…幼少期はどんな子どもでしたか。

戸田（敬称略。以下同様）…セミを捕まえたり木登りしたり。アリの巣を観察するために、アリの行列について行ったりとか（笑）。やはり、今と変わらず生き物と触れ合うのが好きでした。

スタ…自然ガイドである意義、「伝える」ことの意義は何ですか。

戸田…自然研究者のコミュニティで知識を共有するのではなく、その地域に自分も住んで、

自然の豊かさや魅力をより広く外の人に向かって伝える仕事を求めている、理想とする環境がここにはありました。そして、本物を伝えられるのはすごく魅力だなと感じました。

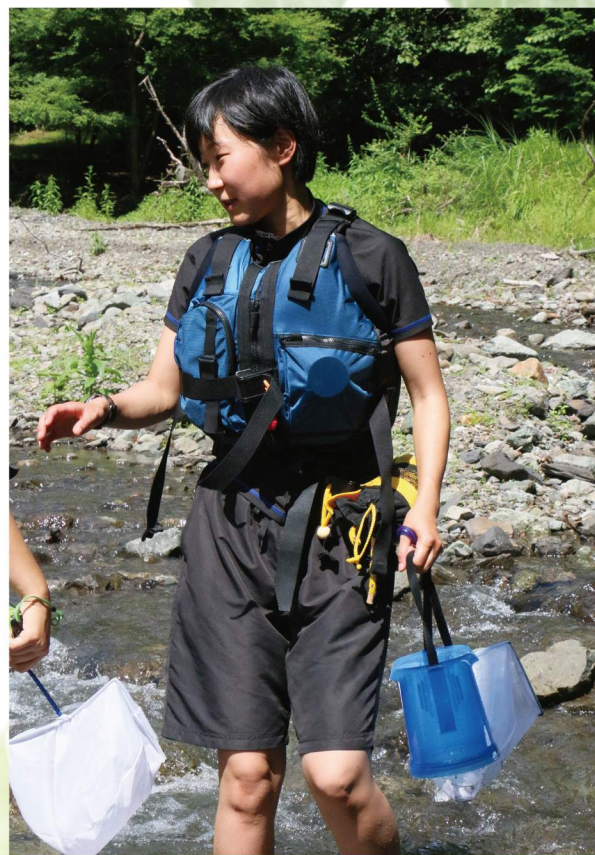
スタ…戸田さんにとっての「本物」の定義、教えてもらえますか。

戸田…例えばクワガタやカブトムシがいた時に、ただツノが違う、という知識だけで終わるのではなく、その先を追求しようとする姿勢ですね。

スタ…本質を追求しようとする姿勢ということですね。

戸田…そうですね。例えばツノが

大人の私達スタッフも戸田さんに「こんな生物を捕りました」と言いたくなりそうな、終始自然体の雰囲気を出す戸田さん。



子ども達の「トノサマガエルを見つけた!」に寄って行った戸田さん。子どもと一緒に喜び、楽しんでいました。

違うのはどうしてだろう、なぜそうなったのだろう、と考え、もつと奥まで掘り下げていき、理解をさらに深めようとする事です。子ども達と接する時に姿勢として大切にしていることは、答えはなるべく言わないようにしています。考えてもらうことで、より理解が深まりますし、子ども達もすぐに忘れないで覚えていくれます。

スタ…休日も面白い過ぎた方をされているようですが、教えてください。

戸田…最近、種を集めるのにはまっていて（笑）生き物のフンの中に種がたくさん入っていて、何の種か知りたくなかったのがきっかけなんです。

フォームがすごく可愛くて！過去にはリス、きつね、シカ、ハクビシン、テナとかの頭骨を集めていました。

スタ…地域の方とはどのように交流されているのですか。

戸田…ユニークな例でいうと、町内のお寺の屋根裏にコウモリの巣が50個できていてそれを掃除した事です。私が動物を好きな事を話して、しばらくしてこんな動物がいたとか教えてくれるようになりました。地元の方々も生き物に興味を示してくれるようになった事がとても嬉しいです。

スタ…移住して6年との事です、早川の町や人のどこに惹かれましたか。移住当初と比べて住民の方

ツマ・キャンプの日程

	午前	午後
7月29日	キノコ採り	シカのライト センサス調査(夜)
7月30日	シカの痕跡を探す (前日の調査で見つけた箇所)	川遊び (水中昆虫を探して顕微鏡で観察)
7月31日	自由研究まとめ	川遊び ムササビ観察(夜)
8月1日	シカ肉でカレーと ナンづくり	森へ秘密基地づくりと、基 地の周りの生き物探しで センサーカメラ設置
8月2日	野鳥公園の森で ウォークラリー	秘密基地の周りに、 生き物が来る場所作り
8月3日	センサーカメラの 映像確認	

今回は上記行程の2日目(30日)に同行させて頂きました。

との関わり方など変化した事はありますか。

戸田：人がとにかく温かいです。間違っていることは間違っている。教えてくれる厳しさも好きです。移住当初は、休日はしょっちゅう実家に帰っていました。最近「ただいま」という感情が芽生えはじめました。休みの日に近所のおじいちゃんとハクビシンの皮を剥いで頭をもらってきたり、そんな事を経験する中で地域に馴染んでいったのではないかと思います。

スタ：プログラムの参加者に望む事はありますか。

戸田：遊んで楽しいだけでなく、早川を知って帰って欲しいですね。また来たいな、と笑顔で帰ってくれるのが一番嬉しいです。

スタ：最後に、早川にいらっしやる方にメッセージを！

戸田：早川は色々な意味で楽しい町です！魅力のある人がたくさんいます。お客さんも、どこのおばあさんと話ができた嬉しそうに話してくれる方もいます。観光スポットを廻るだけではなく、町民と観光客を繋げられるようになってほしいなと思います。

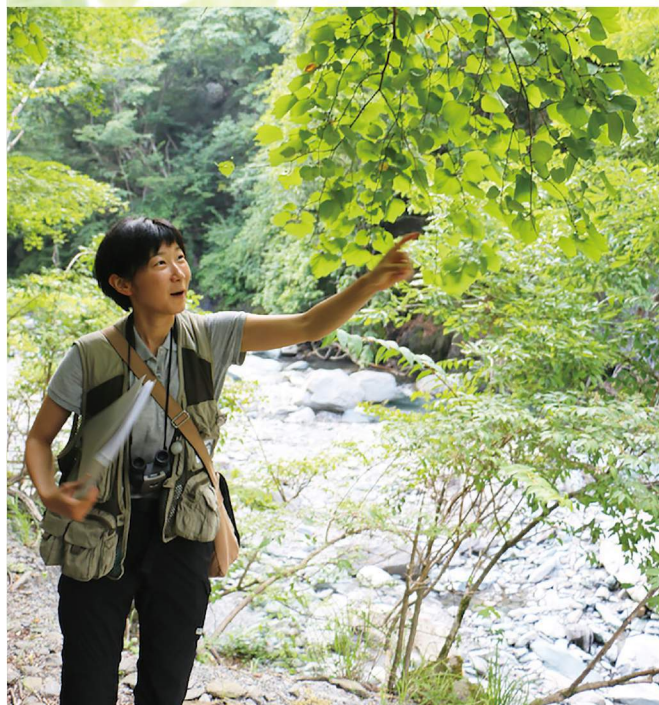
どんな生物も生きていくだけで

素晴らしい、美しいと心底感じ、それをガイドとして多くの人に伝えたい戸田さん。自然や人への愛情や賛美が溢れ出ていると戸田さんのインタビューを通して伝わってきました。野鳥公園内も案内していただきましたが、自然の面白さはあちこちに溢れていることを体感させていただきました。何よりご本人がとても楽しそうに説明しているのが印象的でした。自然の奥深さや早川の暮らしについては、やはり直接彼女に会い、ガイドしてもらい、ご自身で体験していただきたいと強く願っています。

後日、戸田さんからメールをもらいました。

「私が大切にしていること、という質問をもらってあの後考えていたのですが、『私達自身も、自然や早川町を知ろうとすること』かなと。私達自身がちゃんと理解して、そして好奇心を持ち続けること。とても感覚的ですけど、そのようなことを大切にしているんだろうなと思います。」

どこまでも情熱的で、好奇心にストイックな戸田さん。その自然を愛してやまない姿は、今後多くの人を魅了し続けるでしょう。



自分の考えを決して押し付けず、けれども興味のあるものや好きなことについては情熱的に語ってくれました。

戸田 美樹

1990年6月東京生まれ。6年前に東京から早川に移住。麻布大学獣医学部応用生物学科卒業。大学時代に野生動物研究室にて野生動物の研究に携わる。(研究室の先生が、モンゴルの大草原で世界唯一の野生の馬、モウコノウマの研究をしているという話を聞いて同大学への入学を決意。)現在、南アルプス生態邑勤務。専門：哺乳類

南アルプス生態邑 ヘルシー美里(宿泊施設)/野鳥公園

早川町大原野651

TEL
0556-48-2621

FAX
0556-48-2622

E-mail
info@hayakawa-eco.com



www.hayakawa-eco.com

10月

20~21日

南アルプス生態邑イベント

野生動物ツアー ニホンジカに迫る！

秋はニホンジカの恋の季節。シカの研究者と一緒にシカの生態に迫りましょう！夜は真っ暗な森で、オスジカが鳴きあう声や足音から、森の中のドラマを想像したり、日中は獣道を歩いて痕跡をヒントにシカを探します。様々な調査方法を使って、楽しみながらニホンジカにとことん迫るツアーです。

日程：2018年10月20日（土）～21日（日）1泊2日

対象：中学生以上

参加費：12,000円（1泊3食付・税込）、学割10,000円

定員：16名

締切：2018年10月14日（日）（先着・定員になり次第締切）

申込：南アルプス生態邑/ヘルシー美里

TEL：0556-48-2621 FAX：0556-48-2622

HP：<http://www.hayakawa-eco.com/>

E-mail：info@hayakawa-eco.com



10月

15~24日

南アルプス生態邑イベント

南アルプス広河原 紅葉の森散策プラン

南アルプス ユネスコエコパークに登録されている南アルプス。そのエコパークの核心地域に指定され、南アルプス登山の玄関口としても知られる広河原には、カツラを始めとした大木の森が広がります。森が様々な色に染まる季節に紅葉の森を散策しましょう。

日程：2018年10月15日（月）～10月24日（水）期間中の1泊2日

対象：小学生以上

参加費：大人：10,000円（1泊3食付・税込）

子ども：8,300円（1泊3食付・税込）

※登山バス代（2,260円）別途

※体験のみのご参加（宿泊なし）も可能です

定員：9名/日

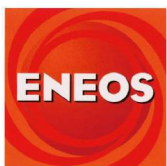
締切：各宿泊日の3日前まで

申込：南アルプス生態邑/ヘルシー美里

TEL：0556-48-2621 FAX：0556-48-2622

HP：<http://www.hayakawa-eco.com/>

E-mail：info@hayakawa-eco.com



浜田屋商店

電話 0556-48-2311

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

理事長 井上聡一郎

山梨県南巨摩郡早川町小縄 26

電話 0556-45-2450

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル

株式会社 望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1766

TEL・FAX 0556-45-2661

〒400-0606
山梨県南巨摩郡富士川町十谷4249
電話 0556-27-0224
ファクシミリ 0556-27-0227

十谷上湯温泉
源氏の湯

日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-tyu/

奈良田温泉
七不思議の湯

白根館

日本秘湯を守る会々員
日本源泉湯宿を守る会々員

〒409-2701
山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
電話 0556-48-2711
FAX 0556-48-2770

www.nukuyu.com/shiranekan/

早川町で感動体験を・・・
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>



2018
秋

早川町観光イベントニュース！



10月3日～
11月19日

南アルプス生態邑イベント
ナイトハイクプラン ムササビウォッチング

空飛ぶ不思議な生きもの、ムササビに会いに行こう！
野生動物に詳しいガイドと一緒に、ムササビが夜の森に出かける瞬間を
観察しましょう。巣穴から顔をのぞかせたり、木を登ったり、夜空を滑
空したりと、目の前で次々に起こる行動から目が離せません！

2018年10月3日（水）～11月19日（月）期間中の1泊2日
対象：小学生以上
参加費：大人：8,000円（1泊2食付・税込）
子ども：7,300円（1泊2食付・税込）
定員：16名/日
締切：各宿泊日の3日前まで
申込：南アルプス生態邑/ヘルシー美里
TEL：0556-48-2621 FAX：0556-48-2622
HP：<http://www.hayakawa-eco.com/>
E-mail：info@hayakawa-eco.com



10月25日～
30日

『藤本光三、藤本佳子 光の世界・遊びと祈り展』
～古民家カフェ鍵屋3周年イベント～

野良仕事を基本としながら、日々の暮らしの中でローソクづくり・
和服リフォーム・花の絵を描き各地で発表している。

2018年10月25日（木）～10月30日（火）
場所：奈良田「山城屋」
費用：無料
問い合わせ連絡先：古民家カフェ鍵屋 0556-20-5556



地域発展のお手伝い！地域の暮らしを守る！

早邦建設株式会社

早川町役場新庁舎

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートブランド】TEL.0556-45-2700
<http://www.soho3000.com/>

ためて噛みごたえのある、
香り豊かな昔ながらの
「田舎そば」

そば処
アルプス

電話：0556-48-2666
【平日】11:30～15:00 【土日】11:30～16:00
山梨県南巨摩郡早川町黒桂584-1
木曜定休 ※祝日の場合は休業
ホームページ：h-alps.jimdo.com

日新火災 日新火災 日新火災 代理店

幡野保険事務所

〒409-3306
山梨県南巨摩郡身延町夜子沢4020
TEL 090-8014-1337
FAX 0556-42-3073

霊峰七面山の登山口であなたの旅を支える

株式会社
俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社
俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 **蓬莱館**

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL：0556-48-2211(代)/FAX：0556-48-2366

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の掘削自噴火温泉では日本随一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿

西山温泉 **慶雲館**

〒409-2702
山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111
FAX 0556-48-2611 <http://www.keiunkan.co.jp>



やまっこの冒険



No.04 早川北小学校 課外授業 BEANS ~自然科学者になろう!~

早川町は、平成26年に他の9市町村と共にユネスコエコパーク(※)に指定された。その中で本町は、人々が生活をし、自然環境の保全と調和した持続可能な地域モデルとなる取り組みが行われている地域(移行地域)にあたる。さらに、本町が平成27年に策定した『早川町創生総合戦略』に基づき、早川北小学校が、地域との関わりを強め、教育活動をより充実させる事を目的として取り組んでいる活動を紹介したいと思う。

BEANS、BEcome ANatural Scientists!自然科学者になろう!と題されたその取り組みは実にユニークで、既存の公立小学校とは一線を画すものがある。

早川町にある南アルプス生態邑(野鳥公園)の特色を活かし、早川北小学校と野鳥公園が合同で毎年挑戦している取り組みだ。対象は小学3年~6年までの児童で、それぞれが1年をかけて自分が掲げたテーマの研究に取り組む。もちろん一人では難しい事が多いので、そこは専門知識を有した南アルプス生態邑のスタッフがフォローし、一緒に作り上げていくイメージだ。

研究テーマは自由で、動物が食べる木の実の種類やけもの道など、个性的かつ独創的で地域の特色が反映されているものである。年度始めのガイダンスから始まり、夏休みを除く各月でそれぞれがフィールドワークに取り組み、中間に設けられたテーマ発表の後、年度末に1年の研究成果をまとめ、最終発表を行う。そして、疑問→仮説→検証を行うことのできる力(科学的思考)を養うことがねらいのひとつだ。

研究発表会には、地域の方々や教育委員会をはじめとした教育関係者、野鳥公園スタッフ、町長や役場関係者も参加し、さまざまな角度から子供たちに研究結果への質問を投げかける。まるで小学生とは思えないクオリティのプレゼンテーションは、大変評価が高く、質問に対する柔軟な対応や的確な回答は少人数教育ならではの雰囲気が伺える。

子どもたちにとっては、研究発表会は大変なプレッシャーに違いないが、一所懸命に取り組む姿が微笑ましい。大自然に囲まれた早川町ならではの地域と連携した教育の発展を今後も期待してやまない。

※ユネスコエコパーク…生態系の保全と、自然と人間社会の共生を目的として始まった。地域の豊かな生態系や生物多様性を保全し学ぶと共に、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す取り組みである。



次号予告!(2018年12月上旬お届け)No.87「雨畑集落徹底解剖」
毎年8月に行われる雨畑湖上祭の歴史と共に、雨畑集落のご紹介を
します。

やまだらけ定期購読のお願い

「やまだらけ」では、今後も「山の暮らしの価値」と、それを後世に守り伝える人々の活動を応援して参ります。
やまだらけは、広告料と会員の皆様の会費で成り立っています。会員の皆様には、やまだらけを毎月お届けいたします。会員として、この取り組みを支えてください。

【年会費】正会員:10,000円 賛助会員:3,000円
【振込先】ゆうちょ銀行 ○二九店
当座 0095644
【名義人】特定非営利活動法人
日本上流文化圏研究所

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350

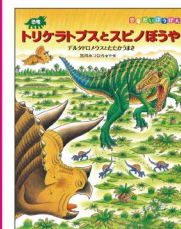


〒400-0422 山梨県南アルプス市荻沢 1356-1

防災用品 非常用アルファ米・保存水・発電機
簡易トイレ・防災用毛布・テント等

オフィス事務機(有)

〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004



恐竜トリケラトプスとスピノぼうや

黒川みつひろ 作・絵

定価(本体1,000円+税)/25×19cm/32頁
ISBN978-4-338-27610-8

トロオドンからすくったタマゴから生まれたスピノぼうやのため、トリケラトプスがお母さんを探している。とデルタドロマウスが…。

〒162-0066 東京都新宿区市谷台町4-15
小峰書店 TEL 03-3357-3521 FAX 03-3357-1027

今回は取材から同行し、執筆、編集と最初から最後まで望月と担当しました。本物を伝える事こだわり続ける戸田さん。「共生をしていくには好きだけではダメなんです。それを知ろうとしない。」その戸田さんの言葉がずっと心に残っています。(アンティラ 美織)

山を覗けば宝の山
【やまだらけ】

発行元/NPO法人日本上流文化圏研究所
住所/山梨県南巨摩郡早川町薬袋430
電話/0556-45-2160 FAX/0556-45-2268
<https://joryuken.jimdo.com/>